



仙台でEM農法勉強会を開催しました

9月5日、仙台市宮城野区の南蒲生浄化センター岡田会館で第3回EM農法勉強会を開催し、宮城県内や近郊からEM（有用微生物群）を活用している農業者、市民など140名が参加しました。

EM技術は、自然の力を引出し化学物質に頼らない農業技術確立のために開発された有用微生物群の活用技術です。このEM技術を活用した農業は、日本国内だけでなく世界150カ国以上で実践され成果を上げています。

当日は、EMの開発者である、比嘉照夫琉球大学名誉教授の講演のほか、2011年東日本大震災と津波で甚大な被害を受けた同地区のEM技術活用による5年半に及ぶ復旧、農業再生の取り組みについて総評いただきました。

また勉強会終了後は、当地で米作をおこなう鈴木有機農園にて、ボランティアの方々の手によるおむすびと豚汁の昼食交流会となり、格別な美味しさを味わった参加者からは大変、喜ばれたEM勉強会となりました。



550人が来場し盛大に開催されました 善循環の輪 山形の集い in 南陽

9月3日、山形県南陽市で「善循環の輪 山形の集い～より良き環境を未来に！」が開催されました。

当日は、朝早くからたくさんの方が来場し、午前の部では、人類が汚染し続けている地球環境を蘇生化させる一筋の希望、微生物の可能性を追求したドキュメンタリー映画「蘇生」上映会と映画を制作した白鳥 哲監督の講演会に熱心に耳を傾けていました。また午後の第二部では、EM（有用微生物群）の開発者である比嘉照夫琉球大学名誉教授の講演と地元でのEM活動事例の発表がおこなわれました。



南陽環境ネットワークの五十嵐 諒会長から、一昨年羽越水害の際の南陽市内におけるEMによる悪臭除去・清掃活動が報告されたほか、行政と連携した河川や学校プールの浄化活動、東根市内での掘割浄化活動、地元果樹生産者からはぶどう栽培でのEM活用事例など、熱のこもった報告がおこなわれ、大変意義深い山形の集いとなりました。

■これからの主要行事のお知らせ

●四国EMフェスタ 2016 善循環の輪の集い in 高知

日時：10月15日（土）12:30～16:30（開場12:00）

会場：高知県土佐郡土佐町「フォーラム末広」（定員300名）

●EMで発酵 BIG BANG！善循環の輪 大阪の集い

日時：10月22日（土）10:00～16:00

会場：マイドームおおさか 3階 展示ホールF（大阪市中央区本町橋2-5）